中子 富貴子

教授・キャリアサポートセンター長
博士（創造都市）

Fukiko Nakako

✉ fukiko.nakako@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword　観光学（観光社会学）、地域研究、ユニバーサルツーリズム、観光人材育成、旅行業実務

地域の観光は地域がつくる

プロフィール

2013年　大阪市立大学大学院 創造都市研究科 博士後期課程 修了
2015年　神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 准教授
2018年　公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授
2022年　公立小松大学　国際文化交流学部　国際文化交流学科　教授

研究分野

観光社会学、観光学、地域課題と観光、バリアフリーツーリズム、フードツーリズム

所属学協会

観光研究学会、日本社会学会、日本福祉のまちづくり学会、観光学術学会、日本フードツーリズム学会

専門分野・研究分野

地域観光の促進に必要な市民力、多様な人々への視点

観光研究の視点は幅広く多様ですが、私は地域観光の促進とそれに伴う地域の再生、地域づくりに焦点をあてています。着地型観光と呼ばれる、地域が主体的に観光に取り組む活動の研究から始め、現在では多様な人の旅行を可能にするバリアフリー（ユニバーサル）ツーリズムや、地域の「食」をめぐって様々な地域産業が連携するフードツーリズム、交通・移動の課題などを研究分野としています。

研究内容

主体的に観光に取り組む人や組織の大切さ

着地型観光やフードツーリズムでは、地域の主体性が重視されます。それは地域の人々が自らの地域に誇りを持ち、文化を育みながら他者に地域を開示していく作業です。そうした環境は地域そのものを強くし、人々の関係性を協力的に推し進めるという観点からソーシャルキャピタル（社会関係資本）のあり方が重要だと考えています。研究を通して、人々や組織の関係性のあり方を観光の現場で考え、またその結果多様な人が生活し、訪れる地域づくりの姿を考え続けています。そのためには、地域での NPO 活動など、市民の主体的でボランタリーな取り組みや組織同士の連携が必要と考え、複数の組織へのヒアリングも重ねています。また、現在はバリアフリー環境が当たりまえと言われる時代になってきましたが、まだ環境整備の余地は多くあります。単にハード整備に終わることなく、住民や当事者も観光を担い、観光を多様で豊かなものにするにはどうすればよいかを課題として研究を進めています。

地域との協働

大学に赴任してから、地域の方との協働作業も進んできました。伝統工芸産業の九谷焼の発展に観光の側面からアプローチし、学生も含めて大学がどのように貢献できるかを考えながら、プロジェクトに関わっています。

また、近年各地で課題になっている高齢者を中心とした住民の外出時の移動手段や交通の確保の問題は、小松市にとっても無関係ではありません。2019年には市内の地域団体が行う乗合ワゴン事業に協力し、地域交通課題の解決にも取り組みました。

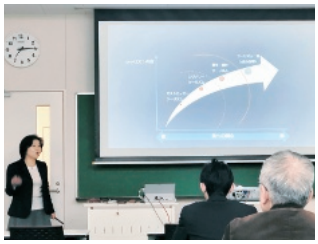

図. こまつ市民大学:「ユニバーサルツーリズム」、「食と観光」をテーマで行いました。

シーズ・地域連携テーマ例

- NPOとの連携、協働
- 観光地におけるバリアフリー化
- 地域課題と観光の貢献

論文

- 観光体験としての労働-「おてつたび」に見る観光と労働の融合，中子富貴子・山﨑陽子，日本観光研究学会全国大会学術論文集，291-296，2024
- 「リモート」で可視化される教育的コミュニケーションの諸局面,中子富貴子，観光ホスピタリティ教育14，111-121，2021
- カナダオンタリオ州におけるフードトレイルの成功要因，中子富貴子・李美花，日本近代學研究64，261-274，2019

書籍等出版物

- 友原嘉彦編著『女性とツーリズム』（共著）古今書院（2017）
- 中村元、中子富貴子共著『バリアフリー観光のためのホテル・旅館改修計画と地域受入体制づくりマニュアル』綜合ユニコム（2016）
- 森田洋司、中子富貴子 他（共著）『新たなる排除にどう立ち向かうか－ソーシャル・インクルージョンの可能性と課題』学文社（2009）

講演・口頭発表等

- 日本福祉のまちづくり学会「震災発生直後の障害者・高齢者に対する民間支援の役割と課題－能登半島地震支援活動への聞き取り調査から」（2024）
- 観光学術学会「終末期における高齢者の移動－ライフコースと移動」（2023）
- 日本福祉のまちづくり学会「コロナ禍における高齢者・障がい者の観光意向と意識」（2023）
- 日本フードツーリズム学会「フードトレイルにおける集積と周遊に関する考察-石川県・能登丼を事例に-」（2022）

競争的資金等の研究課題

- デジタルネットワーク社会がもたらすユニバーサルツーリズムの排除と包摂のプロセス：日本学術振興会：科学研究費助成事業：基盤研究（C）（一般）（2025-27年度）
- 移動前提社会における地域住民と移動者による新たなコミュニティの形成プロセス：日本学術振興会科学研究費助成事業：基盤研究（B）（一般）（2022-24年度）

社会貢献活動

- 小松市「地域公共交通活性化協議会」委員（2018－）
- 小松市「小松市景観まちづくり審議会」委員（2018－）
- 小松市・能美市「クタニズム実行委員会」委員（2019－2025）
- 能美市「能美市観光戦略会議」委員（2023-2026）
- 国土交通省「観光地のバリアフリー評価の普及・促進に関する検討委員会」委員（2018）
- NPO法人日本バリアフリー観光推進機構事務局長（2012-2017）